

ULTRASONICA® UE-02

■ ポータブルハードディスクのご使用について ■

ヒートシールテスター (UE-02) にて、ポータブルハードディスクを接続して使用する際の注意事項・データ保存について説明します。

本機は検査毎に検査データを保存しており、継続使用時に内蔵ハードディスクの容量が不足する場合があります。本稿では、外部保存先としてポータブルハードディスクを活用する際の注意点、設定方法に関して記載しています。

1. 検査データの保存について

工場出荷時の設定では 1 回の検査毎に 1 つのデータファイル(.yuh) が作成されデータ記録フォルダーに保存されます。検査 1 回あたりのデータサイズは検査項目数・測定範囲等により変動し(下表)、1 検査でのデータサイズが 100KB の場合、1 万回の検査実施でデータ容量 1GB となります。

データサイズ	測定 ch	判定項目	時間	間隔
KB	個	個	s	ms
97	20	1	0.6	1
298	20	1	1.5	1

UE-02 本体のハードディスク容量は工場出荷時約 150GB で、空き領域が 100MB 未満になると警告メッセージが表示されます。追加の外部保存先としてポータブルハードディスクのご使用を検討される場合は次章の「選定時の注意事項」を参考にしてください。

2. 選定時の注意事項

ヒートシールテスターにポータブルハードディスクを接続し使用される場合、**セルフパワータイプ**(※1)のポータブルハードディスクを選定してご購入ください。バスパワータイプ(※2)のポータブルハードディスクの場合、USB 端子からの供給電力が足りず認識されない場合があります。

[注釈]

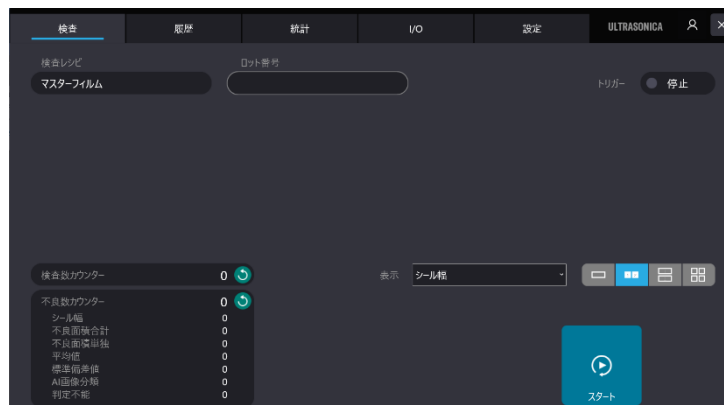
(※1)セルフパワー…… AC アダプターを通じてコンセントから電源供給を行う方式 (別途電源が必要です。)

(※2)バスパワー…… USB 端子より電源供給する方式

3. データフォルダー 設定変更方法

外部保存先としてポータブルハードディスクを接続される場合は、データ保存先のフォルダー指定が必要になります。本章ではデータフォルダーの設定変更方法に関して記載しています。

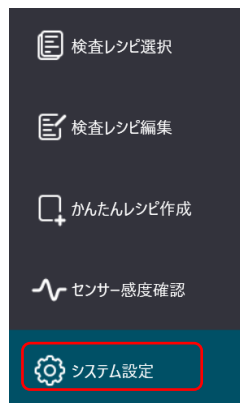
(1) 検査停止状態にしてください。



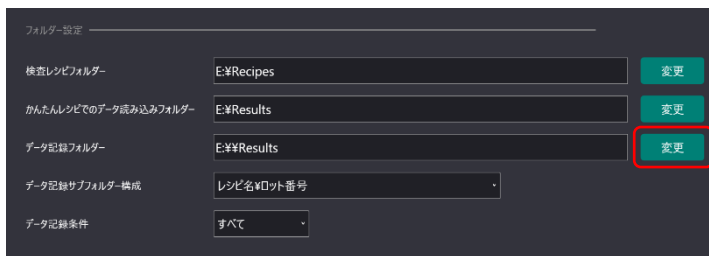
(2) 操作画面上部の設定タブをクリックしてください。



(3) 左側に表示されるシステム設定のメニューボタンをクリックしてください。



(4) データ記憶フォルダー欄の右側にある変更をクリックしてください。



(5) フォルダを選択する画面が開きます。

ポータブルハードディスクのパスを指定してください。

※保存フォルダー名は適宜決めてください。

(例：E:\Results ※フォルダー名を Results とした場合)

4. サポートにつきまして

ポータブルハードディスク本体に関わるお問い合わせにつきましては
弊社サポート対象外です。ポータブルハードディスクのメーカーに
お問い合わせ・ご相談ください。